

# 5年生のページ

## 12月 自分にできることは

11月30日(水)に、聴覚障害者の石井さん、通訳の橘高さんにお越しいただいて福祉学習をしました。

手話を通訳していただきながら、石井さんの話を聞きました。1歳のころ聴力を失われたこと、非常時などで困ることがあるのでそういうときに声をかけてもらえたらすごく助かるということなど、体験談を交えながらお話をしてくださいました。



手話を知らなくても、  
伝える方法はある！



簡単な手話も  
教えていただき  
きました。

話の中で石井さんは「聞こえないことは不便なことだけど、不幸なことではない」と言われました。幸せとは何か、みんなが幸せに暮らせる社会とはどうあるべきか、子どもたちもいろいろなことを考えたようでした。

そして、一番大切なのは「自分に何ができるか」を考えることだと思います。だれかが困っているときにそっと手を差し伸べることができる、強く優しい自分を目指してほしいです。

私は今まで障害をもった方のことをかわいそうと思っていただけ、今日の学習で考え方が変わりました。石井さんは幸せだと言っておられて、私が勝手にかわいそうだと思っていただけだと思いました。みんなと同じところもちがうところもあるから、それは当たり前で、みんな平等だと分かりました。

石井さんの子どもどものときの勉強の話を聞いて、大変そうだったので、すごく努力をされたんだと分かりました。危険な経験もされているのに、聞こえなくて悲しかったことはないとと言われて、びっくりしました。耳が聞こえなくても前向きに過ごしておられる石井さんを見て、私もどんなことも最後までがんばろうと思いました。

児童のふいかえりより

2日(金)に、学校周辺の落葉集めをしました。地域の方にも手伝っていただき、校庭や登下校の道がきれいになりました。

作業後には、みんなで蒸したさつまいもを食べました。

